



第 18 号

R1. 12. 4

文責 倉迫

建学 144 年

授業参観・学級懇談会

11月29日（金）、第2学期最後の授業参観・学級懇談会が行われました。

当日は、参観前に文化講演会も公民館で行われました。「ネット社会の子どもたちの現状と保護者の役割」と題して、モバイル・ネットワーク研究所の松川由美様からお話をいただきました。子どもたちを取り巻くネット上の様々な環境についてふれられ、保護者としてどのような関わり方をしていけばいいのか考えさせられる内容でした。子どもたちにインターネットという公道を走らせるには、その前に自転車の乗り方を練習するように、段階的に使い方についてしっかりと練習して臨むべきではというお話が印象に残りました。

その後の授業参観では、11月29日（金）から12月13日（金）までの人権旬間の取組みの一環として人権学習を各学年で公開しました。各学年の取組み内容は、子どもたちの反応などと共に次の「五福校」で紹介します。

12月3日（火）の児童集会は、人権集会として計画委員のみんなが発表を行いました。内容は、

- ① 人権の意味について
- ② 劇の発表
- ③ 「思いやりのハート」プロジェクト
- ④ 校長の話
- ⑤ ♪友だちになるために♪ 全員合唱

②の劇では、

i 困った友だちに協力しよう
ii 転入生にも声をかけよう
iii 喧嘩したらお互いにあやまろう
と3パターンの劇を披露してくれました。低学年の子どもたちにもわかりやすく、身近によくある出来事を劇にしていました。



転入生に自分から声を

次の「思いやりのハート」プロジェクトは、「心と心の手をつなごう」のスローガンに向けて、学校生活での思いやりのある出来事を小さなハートに書いて、大きな思いやりのハートに貼って色を付けていくことで「思いやりのハート」を完成させようというプロジェクトです。どんなことが書かれるのか楽しみです。きっとたくさん子どもたちが、身の回りにある「思いやりのハート」を感じて書いてくれると思います。

最後は、今月の歌♪友だちになるために♪を全員合唱しました。「ともだちになるために 人は出会うんだよ どのどんな人とも きつとわかりあえるさ・・・」すてきな歌詞が聞こえてきました。

今月は、人権旬間で人権について考え、さらに「思いやりのハート」を大きくたくましくしていったほしいなと願っています。心温まる人権集会でした。

